

ふくしま県域災害支援ネット 設立シンポジウム

頻発する自然災害に対して、多様な主体が福島県域で連携して支援にあたるよう、ネットワーク組織を設立します。本シンポジウムは、民間の支援団体が県域ネットワークをつくる意義と、平時からの行政・社協との連携の必要性について、事例報告や県外の先進的な取組を紹介しながら、県民の理解を深めるために開催します。

2023年3月10日(金)

13:30～16:30 (13:00 開場)

会場: ラコパふくしま 5F 中会議室 AB

福島県福島市仲間町 4-8

参加無料

会場定員 50名

オンライン定員 50名

※事前の申込みが必要です。

申込方法は裏面をご覧ください

主な内容

●事例報告

「県内の災害と民間支援の連携」

令和元年台風19号、令和4年福島県沖地震の被災地から、実践された支援連携について報告します。

登壇者



馬目 一浩

災害支援ネットワーク Iwaki 会長



原田 淳子

一般社団法人
南相馬パブリックトラスト 理事長



内山 愛美

認定特定非営利活動法人
ふくしま NPO ネットワークセンター 理事

●ミニパネルディスカッション

「支援連携の必要性と課題」

事例報告者と中間支援関係者を交えて議論します。

ファシリテーター (本シンポジウム実行委員長)



天野 和彦

一般社団法人
ふくしま連携復興センター 代表理事

●講演

「多様なセクターの連携と平時からの関係性構築について」

長野県における行政、社協、民間支援者の先進的な連携体制や、全国各地の取組について、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) から紹介・解説していただきます。

講師



古越 武彦

認定特定非営利活動法人
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

登壇者・講師・ファシリテーターの
プロフィールは裏面をご覧ください

共催 福島県社会福祉協議会
後援 福島県

主催：ふくしま県域災害支援ネット 設立シンポジウム実行委員会
事務局 一般社団法人 ふくしま連携復興センター 内
〒960-8062 福島県福島市清明町1-7 大河原ビル 2階
TEL：024-573-2732 FAX：024-573-2733

本シンポジウムは認定特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) の「そなえ基金」を活用し実施致します。

登壇者・講師・ファシリテーター プロフィール

●事例報告 登壇者

馬目 一浩 災害支援ネットワーク Iwaki (DSNI) 会長



DSNI は令和元年東日本台風で行われた「いわき市被災者支援情報共有会議」に参加していたいわき市内の支援者（団体）を中心に設立された災害に特化した中間支援組織である。普段はいわき市の浄土宗 阿弥陀寺の副住職を務めている。

原田 淳子 (一社) 南相馬パブリックトラスト 理事長



企業の経験を経て、2009 年、特定非営利活動法人福島県ベンチャー・SOHO・テレワーカー共働機構入職。2010 年、福島県インキュベーションマネージャー養成研修参加（所属：特定非営利活動法人 相双 NPO センター）。2011 年～2012 年、避難のため一関市へ「一関市災害対策本部」2012 年 2014 年、特定非営利活動法人相双 NPO センター ビジネスカフェ。2014 年、南相馬市市民活動サポートセンター事務局長。2020 年 3 月 1 日、一般社団法人南相馬パブリックトラスト代表理事就任。以後、南相馬市市民活動サポートセンター・みなみそうま市民と NPO による災害支援チームこのゆびとまれ事務局長を兼務。

内山 愛美 (認定特活) ふくしま NPO ネットワークセンター 理事



福島県福島市出身。出版社勤務を経て、司会・イベント企画会社を設立。2009 年、福島市市民活動サポートセンター入職、2011 年同所所長就任時に東日本大震災を体験し、災害支援に関わる。育成プログラムや助成プログラム地域アドバイザーを担当。

2020 年より県の NPO 支援センターの企画運営にも関わる。2021 年より認定特定非営利活動法人日本 NPO センター評議委員、一般財団法人非営利組織評価センター評価委員もつとめる。

●講演 講師

古越 武彦 (認定特活) 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク



特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 事業部事業担当。長野県危機管理部で長年にわたり防災・減災業務に従事。2011 年以降に長野県で発生した全ての災害（地震、噴火災害、風水害、雪害など）への対応業務に携わる。2022 年 3 月に長野県を早期退職し、被災者支援体制の構築等に取り組んでいる。

●ふくしま地域災害支援ネット 設立シンポジウム 実行委員長

ミニパネルディスカッション ファシリテーター

天野 和彦 (一社) ふくしま連携復興センター 代表理事



特別支援学校の教員として 15 年。その後、県教育委員会や県男女共生センターなどで社会教育の仕事を 15 年。2011 年 3 月 11 日の東日本大震災、東京電力福島第一原発事故に際し、約 2500 人の被災者を受け入れ、福島県内最大規模だった「ビッグパレットふくしま避難所」の県庁運営支援チーム責任者として運営に携わる。2012 年より 2022 年 3 月まで福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授。現在、福島大学地域未来デザインセンター客員教授、一般社団法人ふくしま連携復興センター代表理事として被災者支援について調査研究を行うとともに、コミュニティ形成のための支援・研究活動を行っている。防災教育教材「さすけなぶる」の開発リーダー。

オンラインでのお申し込み

3月6日(月)締め切り
(定員になり次第受付を終了します)

参加申込フォーム



<https://forms.gle/FWsDYPiitbawkvNy9>

FAX でのお申し込み

3月6日(月)締め切り
(定員になり次第受付を終了します)

FAX 番号 024-573-2733

ふりがな お名前	ふりがな 所属
メール	どちらかに○をつけてください 会場参加 ・ オンライン参加

災害支援の分野について行なっている・行なったことがある活動にチェックをしてください。(複数選択可)

- 被災者への物資支援（食品、生活用品など）
- 被災者の心のケアや見守り、居場所づくり、子どもの学習支援などの対人支援
- 家屋の応急処置、泥かき、家具運び出しなど、家屋に関する支援
- 直接支援を行う個人・団体等への中間支援（情報、人、物、資金等のコーディネート）
- 法律や行政申請などに係る専門的支援
- まだ支援の経験は無い
- その他（